

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0904014

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費：14,100千円（計画年度により変更あり） 計画内容：焼酎委託製造、販路開拓、販促グッズ作成 原酒委託製造 平成25年度～平成29年度（ブランド開発） 特産品（焼酎）の製造・販売（5,000本） 事業計画：商品製造、販売に係るPR物、町購入分等 ※H25 1,750千円 H26 1,100円 H27 1,100円 H28 1,100千円 H29 700千円
基本施策	5 観光の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 雄武観光の売り込み	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	神門プロジェクト事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	焼酎の製造・販売	関係課	#N/A	
事業目標	50,600本製造、50,600本販売	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画内容	ダッタンそばを使用した焼酎の委託製造及び販売	焼酎委託製造(10,000本)	焼酎委託製造(10,000本) 販路開拓、販促グッズ作成	焼酎委託製造(10,000本) 販路開拓、販促グッズ作成	焼酎委託製造(10,000本) 原酒委託製造(300本)、 販路開拓、販促グッズ作成 箱購入 ポスター作成 原酒用シール作成 PR用チラシ作成	焼酎委託製造(10,000本) 原酒委託製造(300本)、 販路開拓、販促グッズ作成 ブランド開発 商品開発 1,000千円 成分分析 250千円	
	事業費(千円)	35,133	14,100	14,000	1,633	2,670	2,730
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	11,890		11,000		890	
一般財源	23,243	14,100	3,000	1,633	1,780	2,730	
実績事業費	事業費(千円)	22,337	12,056	4,745	1,632	2,260	1,644
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	9,641	3,477	2,795	1,632	903	834	
一般財源	12,696	8,579	1,950		1,357	810	
関連事項	(特定財源の詳細等) 仕入助成金返戻金	【評価・実績】	(実施内容等) ・焼酎委託製造 10,000本 ・販売実績 5,045本	(実施内容等) ・焼酎委託製造 2,358本 ・販売実績 3,720本	(実施内容等) ・焼酎委託製造 2,535本 ・販売実績 2,913本	(実施内容等) ・焼酎委託製造 4,571本 ・原酒製造 295本 ・販売実績 2,586本 ・原酒 153本	(実施内容等) ・販売実績 2,148本 ・原酒 205本
			※前年度評価結果	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 B—継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	製造・販売10,000本	製造・販売10,000本	製造・販売10,000本	製造・販売10,300本	製造・販売10,300本
		年度達成率	86%	34%	100%	85%	60%
		全体達成率	34%	48%	52%	59%	64%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	神門プロジェクト事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	焼酎愛好家、飲食店	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	販売本数								
【抱える課題やニーズは】	小売価格を抑えるため既存の流通ルートに頼らない販売をしているが、販路拡大に苦慮している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民に定着し、10年後・20年後も愛される商品となることで、事業の安定した継続を実現する。	①	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10,300本</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2,153本</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>20.9%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	10,300本	実績値	2,153本	達成度	20.9%
目標年度	平成24年度										
目標値	10,300本										
実績値	2,153本										
達成度	20.9%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	焼酎による物産・観光振興を図る。また、これをきっかけに農業分野における新たな特産品の創造を行い、ひいては遊休耕作地の活用等の農業振興にも寄与する。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	焼酎の委託製造	二世古酒造(倶知安町)に製造を委託し、「原酒」の製造・販売も行った。また新種そば粉を用いた新酒製造についても協議中。									
	商品PR・販路拡大	町内の酒類販売店(コンビニを除く)に加え、現在は都市部での販路拡大にも取り組んでいる。また、ギフトセットの開発や原酒の製造など販促事業にも取り組んでいる。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	マンパワー、資金等の要因により町内の民間事業者による実施が難しかったことから、事業の立ち上げは町が担ったが、販売実績が安定した暁には適当な事業者への移管について検討を要する。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	平成20年9月から販売を開始したが、ここまで順調な売上を記録している。また、従来の海産物とは異なる新たな特産品ということで話題を呼び、町のPRIには寄与したと判断するが、販売本数の増や新製品開発に向けた積極的な取り組みが必要である。
	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	安価な商品価格を実現するため、製造原価や流通ルートで発生するマージンの抑制に取り組んでおり、効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

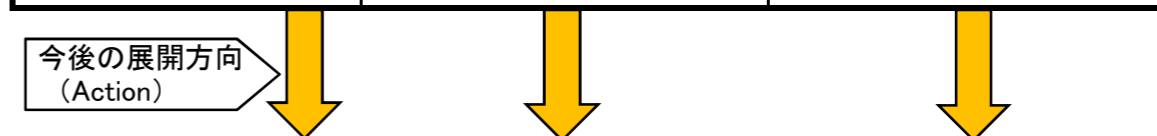
公平	判断の理由	町内外を問わず多くの人々に提供されている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C	C	
「原酒」の製造、販売も好評であり、「オホーツクの勇者雄武」は、毎月平均した販売実績があり町のPRIにも寄与しているが、新製品開発が滞っていることから、事業内容の見直しが必要である。	同左	



継続/拡充	継続/拡充	
町民に愛される酒となることを目指しているが、当事業は観光物産振興も目的としており、町外の販路拡大に一層力を入れる必要がある。また新酒製造・販売などの計画も推進する必要がある。	同左	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止